

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	31-3		
PDCA	主要事業名	成岩公民館改築等事業	部課名	教育部生涯学習課	担当 内線	赤坂 23-7341		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 1 単位施策： 学びの推進 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 9 年度 全体事業費等： 473,964 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.05.02.04.52					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用		
	事業概要等	事業概要： 地域の生涯学習活動・地域活動の拠点となる地区の公民館を、市民が安全かつ快適に利用できるよう、改築または大規模改修により環境整備を行うもの。昭和41年度に建築され、既に50年以上が経過している成岩公民館の改築を実施する。						
		事業目的： 施設の安全性、利便性、機能性を向上させる。						
		事業内容： 生涯学習活動や地域活動の拠点としてより安全かつ快適に利用できるよう令和5年度から新施設建設にとりかかる。						
		問題点・ 地域住民の意見も取り入れながら、公共施設等総合管理計画に基づき事業を課題等： 遂行する。						
	予算額	主要事業とする理由						
	11,261 千円	施設の老朽化が課題となっている地区公民館を順次建て替え等していくことが、地域の生涯学習活動や地域活動の活性化につながるため。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費 8,933 千円	施設の安全性と機能性、利便性が高まり、多世代の利用が促進されることにより生涯学習活動や地域活動の活性化につながる。						
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態						
県費 2,328 千円	安心・安全に利用できる新しい建物を予定通り建設する。							
その他 0 千円								
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果						
	11,008 千円	公民館に代わり、小学校敷地内に「地域交流施設（仮称）」を設置する市の方針に基づき、成岩第4区の関係者をはじめとした成岩小学校区の住民とともに、新施設に求める機能や使い方を活発に意見交換し、今後の展望を共有することができた。また、意見交換を重ねることで市の方針に対する地域の理解を得ることができた。						
		成果指標 安心・安全に利用できる新しい建物を予定通り建設する。						
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 小学校区コミュニティの構築に向け、地域の関係者が地域課題を話し合う場をつくるため、市民協働課と連携して「なる小地区 地域の未来ミーティング」（計5回）を実施した。成岩公民館にかかわる「地域交流施設（仮称）」について、地域住民との活発な意見交換により、地域の意識醸成を図ることができた。 また、同ミーティングと並行し、成岩小学校敷地内に建設する新施設への動線について、成岩第4区の地区役員や成岩小学校関係者、放課後児童クラブ職員とともに議論し、児童の安全面を最優先とした動線を設定することができた。						
	今後の事業の方向性	改善推進 公民館において活動している社会教育団体が、地域交流施設において活動する際の支援内容について検討する。 令和5年度に引き続き「なる小地区 地域の未来ミーティング」を軸に、意見交換における地域住民の思いが反映された新たな拠点のレイアウト等をもとに、新施設の機能、使い方の検討を深め、また、新施設の管理や運営方法についても意見交換を進め、事業の実現に力を注ぐ。						
A 課題の解決に向けた	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	減余地	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）